

「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2019」開催報告



1 概要

内閣府・文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）は、「進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来 2019」を開催し、女子中高生をはじめ、保護者や学校の教員など、184名（登壇者、関係者含む）が参加しました。本シンポジウムでは、研究者、学生、起業家等、様々な分野で活躍している理系出身の先輩をお招きした他、理工チャレンジの趣旨に賛同する企業・大学等によるブース展示やワークショップも行い、多様で豊かな理系の未来をご紹介しました。（開催日：令和元年6月8日（土））

2 講演内容

まず、「基調講演」では、内閣府「STEM Girls Ambassador」であるズナイデン房子氏（日本マクドナルド株式会社上席執行役員 CMO）と玉城絵美氏（早稲田大学創造理工学研究科准教授）のお二人に、「STEM Girls Ambassador トークセッション」と題して、理系選択の未来についてお話をいただきました。トークセッションでは、ご自身が携わってこられた仕事や研究、理系に進んだ理由、学校生活などのお話を交え、お二人の掛け合いによるトークに会場は、興味津々といった様子でした。



「理系で活躍する先輩による経験談発表」「ホンネ座談会」では、様々な分野で活躍する理系出身の先輩たちから、理系進学を目指したきっかけや、学校生活、各々の仕事内容とそのやりがいなどについてお話をいただきました。また、会場からは、進路選択に迷っている生徒や保護者の皆様から、学生時代にやっておくべきことや社会人になる上で必要な考え方について質問があり、先輩たちからは、理系選択のみならず、社会人になる上で大切なこととお話をいただきました。最後に、登壇された先輩から、会場の皆様へ熱いエールが送られました。



3 ブース展示・ワークショップ

内閣府男女共同参画局が中心となって取り組んでいる「理工チャレンジ（リコチャレ）」の趣旨に賛同する団体によるブース展示とワークショップを行いました。ブース展示では、17 団体が出展し、各団体における仕事内容や取組、学校生活等の紹介が行われました。



また、ワークショップでは、3 団体が出展し、ロボットプログラミングセミナー、おもちゃの構造を学ぶワークショップ、簡単な化粧品の実験などを実施し、多くの方にご参加いただき、みんな真剣に楽しく取り組みました。



参加者のみならず、各企業等の担当者同士がネットワークを形成できる機会ともなり、今後の取組拡大につながる有意義な時間となりました。